

平成27年度
港湾流通科 卒業研究

学生氏名 長瀧 康太 宮平 亜慧
担当教官 津波古 進

1. 目的

本制作はAndroidアプリの開発技術の習得を目的とし取り組み、ロジオペ3級の学習を支援するためのロジオペ3級用語DBアプリを開発した。

2. ロジオペ3級試験概要

ロジオペ3級試験では、物流における倉庫業務や輸配送に関わる仕事を担当する上での専門的知識・能力を評価する。

3. システムの概要

3.1 機能

・本アプリは、用語の参照、追加、更新、削除を行う「用語辞書」機能と、用語を覚えているか自己判定するための「用語確認」機能から構成されている。

3.2 教材データ

- ・「用語マスタ」テーブルの初期データの作成方法
 - a)用語の情報(用語名, ふりがな, 説明)を Excelを使い、Excel(xlsx)形式で保存する。
 - b)Excel形式(xlsx)で保存したファイルを CSV(カンマ区切り)形式で保存。
 - c)CSV(カンマ区切り)形式で保存したファイルをテキストエディタに読み込み、文字コードをWindowsの標準文字コードShift-JISからAndroidの標準文字コードUTF-8に変換し保存すると初期データファイルが出来る。

3.3 本アプリの画面遷移図

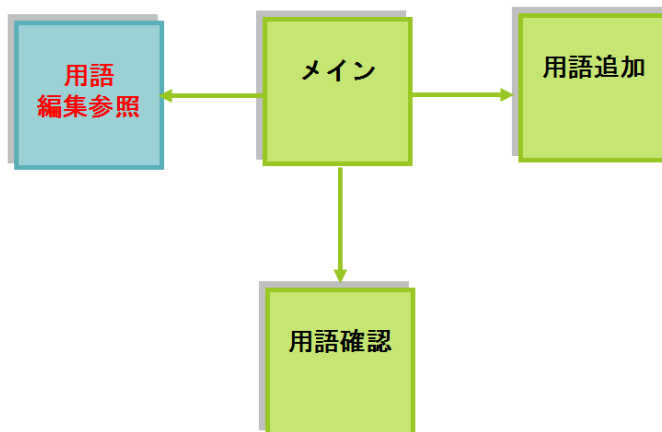


図1 本アプリの画面遷移図

3.4 開発環境

OS: Microsoft Windows7 Professional SP1
 Java開発環境: Oracle JDK7
 Android開発環境: Android SDK
 統合開発環境: Eclipse 4.4.2、Android Studio 1.2.2
 Eclipseプラグイン: ADT(Android Development Tools)
 開発言語: Java
 アプリ実行対象OS: Android4.0以上
 組込DB: SQLite3

4. 完成画面

完成したシステムの画面のいくつかを以下に示す。メイン画面では、用語確認ボタンを押すと用語確認画面へ、用語追加ボタンを押すことで用語追加画面へそれぞれ遷移する。また、インクリメンタルサーチに対応しているため、検索欄に文字を入力した瞬間に、図2のように、部分一致による用語の検索結果とその検索件数が表示される。さらに、検索結果から用語をタップし選択すると図3の用語編集・参照画面にその用語の情報が表示される。



図2 メイン画面

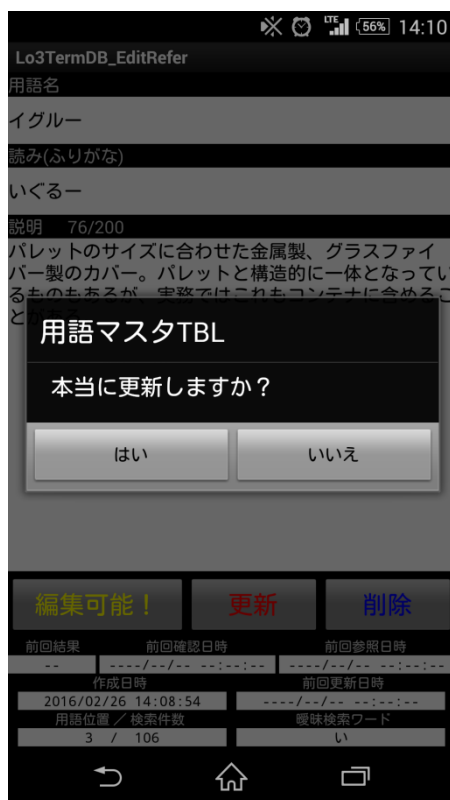


図3 用語編集・参照画面

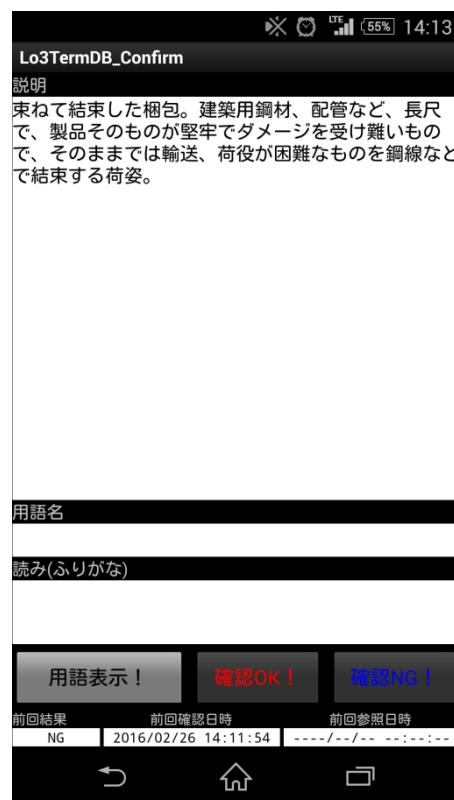


図4 用語確認画面

5. おわりに

本制作を通して、Androidデータベースアプリの一連の開発技術を習得することができ、システム開発工程も実践的に学ぶことができた。

ロジオペ3級用語のデータベースを作成することで、物流全般の基礎知識を改めて復習することができ、その知識の理解を深めることができた。

作成した設計書等のドキュメントを利用することで、グループ間で進捗状況等の情報共有や意思疎通をスムーズに図ることができるということが分かり、ドキュメント作成の重要性を認識した。